

1. 経営目標の達成

入学者数が前年を大きく上回り、学費収入、事業収入、共に目標を達成することが出来た。事業収入においては設備投資資金として流用することが出来、環境整備を通じて学生還元することが出来た。さらに基盤強化に繋がった。

2. 情報センター予定全業務の稼働・活用

第一次稼働予定業務としての学生募集関係業務および学籍管理業務においては予定通り稼働することができた。期の途中で就職関連の情報をネット情報として学生に提供するシステムを立ち上げようとしたが、時間不足で翌年へ繰り越しとなった。

ただし、情報センターの業務とは別に学校からの情報を学生に伝える為の「メール配信システム」を稼働することができた。これらのシステムの稼働により業務の標準化、効率化を図ることができた。

3. 産・学・官連携事業の推進

前年度に続いて、熊谷駅の階段アートの制作・展示を実施、これは熊谷市の協働事業「涼しさ体感アート事業」の中で実施されたが、階段アート部門のデザインについては本校が一任される形となった。ここまでは前年どおりであったが、今年度は籠原駅の北口・南口の2箇所が追加され合計4箇所に作品を展示することができた。また、これまでの実績に加え斬新な提案により、次年度実施される市民協働「熊谷の力」熊谷発！ビジネスコンテスト事業「次世代を担う若者の人材育成支援を目的としたビジネスプランの企画」の委託も請けることができた。さらに、C o m p T I Aからの企業、熊谷市など行政からの審査員派遣による、学生の「卒業研究発表会」を開催するなど産学官連携の強化も図ることが出来、教育成果へと繋がった。

4. 聴講生・単位履修生・BBコースへの編入制度、IT総合研究コースの研究助手制度の整備

残念ながら今年度は、この制度の利用者は出なかったが、こうした制度が整備できたことで、さまざまな形で学習機会を提供することができるようになった。

また、通信制・単位制学科の設置についても検討を進め、施設・設備等環境整備に向けて動き出すことが出来た。設置は平成27年度を予定している。

5. 教育体制の強化

質の高い授業運営を目指し、わかりやすい授業の実施、教育力・指導力の向上、円滑なクラス運営、そして、実績の向上の4つのポイントを基本として、取り組んだ。

特に教員の勉強会や意見交換などノウハウの共有につとめた他、個人レベルでクラス運営や授業の工夫に務めた。この結果、退学率・休学率・検定合格率・就職実績など

の成果面から判断し、世間一般に比べると満足のいく結果であったが、本校の設定する目標には課題として残る部分もあった。

6. カリキュラムの再編成

ゲームクリエイターコースでは、プログラミングが苦手な学生に対して、資格取得を目指した特別授業を選択できるようにしたほか、ビジネスベーシックコースでは、経理など難易度の高い授業以外の選択が出来、卒業に必要な単位を取得出来るようリテラシー基礎授業を追加した。保健・医療ビジネスコースでは患者接遇やアプリケーションスキル、医事コンピュータや電子カルテなど実務に即したパソコン系の授業強化、歯科分野の授業を新規追加した授業コマ数の調整を図った。

7. 基礎学力、就職試験対策など一般教養時間数の拡大

基礎学力の底上げを目的とした基礎教養の特別授業16コマを実施し28名が受講した。「基礎演習Ⅰ」では基礎学力テストと就職基礎ドリルテストを実施し、「基礎演習Ⅱ」では前期末試験後に基礎ドリルテストと同等レベルのテストを実施し、対象者を決定した。これにより勉強方法や計算方法など正しく身につける場が提供出来たことにより、基礎学力不足の学生の退学抑制にも繋がった。

8. 就職採用試験対策授業の再強化

情報システム科3クラスの後期就職実務の時間を増やし、SPI対策授業を担当が行う就職実務と並行し、筆記試験対策を実施した。また、就職面接対策や相談の窓口を設置し、個人面接指導・履歴書添削指導・個別就職相談・クラス別就職講演・面接指導の強化をはかった結果意識の高揚を高めることが出来た。

9. 教員作業環境の整備

メール配信システムの導入を行ったことや鍵の管理ルールの設定・書類の用紙サイズの統一・簡素化・電子化・アンケート集計の自動化・時間割作成の一部自動化などと取り組んだ。また、教務室の整頓など環境整備が順調に進んでいる。

その他、授業、クラス運営以外の業務の見直し、書類の簡素化、PCの配布、アンケート集計の自動化、時間割作成の一部自動化、教務室の整理整頓などと取り組み成果を挙げる事ができた。

10. 新しい取り組み

ゲーム大賞への出展

ゲーム大賞アマチュア部門に2チーム+2名が作品応募した。入賞には至らなかったが、具体的な目標を設定することと、作品レベルが例年と比べて向上したことで一定

の成果に繋がった。

1 1. 公務員試験対策講座の見直し

10コマの講座として準備しているが受講希望者が少なく開講に至っていない。内容、期間、募集案内等再検討が必要となる。

1 2. インターンシップの再調整

アルバイトをした経験のない学生も多く、職場で働くことの抵抗感を排除するなど教育効果が出ている。

1 3. 自己発見・自己ブランディングプログラム内容の組み替え

使いやすいテキストに再編成することで効率の良い就職対策が運営出来た。

1 4. 就職実績の向上

就職率においては、就職環境の厳しさから昨年98.1%を超えることを目標に掲げた。活動としては、求人先の拡大、業界実績、就職試験対策強化に力を入れた結果、就職内定率98.9%、求人先の拡大においては、一般企業380社目標に対し362社で95.3%、にとどまり目標を達成することができなかった。内容を見ると、情報系企業は、潤沢な求人数が確保でき実績も向上したが、製造業においての求人は昨年引き続き厳しく、間口の広いサービス業や福祉系に活動幅を広げる学生もいた。また、教育機関や医療系では求人先も充分確保でき、今年度も100%に迫る実績を残す事が出来た。

1 5. 施設・設備の新設・更新・改修

- ・保育棟 土地、建物購入
- ・101教室「最新教育設備完備のモデル教室に」
- ・モニターTVの設置
- ・校舎（B棟除く）全階段の非常灯、誘導灯の更新
- ・エレベータ内壁整備・101教室・301教室床マットの張り替え
- ・全館清掃
- ・101教室・501教室・K202教室・机・イス新規購入
- ・黒板のホワイトボードへの交換×8
- ・無線LANアクセスポイント（Lojitec）交換×4
 - ・以外、教員用ノートPC×4、301教室PCメモリー×31、雇用プリンター×1、教材提示装置×1、プロジェクター×4、レーザーポインター×1、ペンタブレット×10、XBOX×1、CBT対応ノートPC×21、PC収納ラック×1

<ソフトウェア>

Office 2110×254、2DCGソフト×21、CADソフト×21
3DCGソフト×25、音楽制作ソフト×31、CBT用OS×23、メール
配信システム×1式、CBT用レンタルサーバー